



金井南龍《龍宮城の花火》
1969年 さすら蔵



鴻池朋子
《Dream Hunting Grounds》
(部分)2018年



糸井潤《Topology #057》
2015年 作家蔵



高山明 / Port B+あかつきの村
《前橋聖務日課》
2016年 作家蔵



尾花賢一《風男》2019年 作家蔵



プブ・ドラ・マドレーヌ
《ある晴れた日に永遠が見える》
1999年 オオタフインアート蔵

表現の生態系

The Ecology of Expression

世界との関係をつくりかえる Remaking Our Relations with the World

2019 10/12 sat ~ 2020 1/13 mon
(水曜・年末年始を除く) 10時~18時
(入場は17時30分まで)

一般	600円	無料デー
学生・65歳以上・団体	400円	10月28日(月)
高校生以下	無料	12月10日(火)
		来年1月9日(木)

以下に当てはまる場合は無料

障害者手帳を持つ人と介護者1人、雇用保険受給資格証を持つ求職中の人、児童扶養手当証書を持つ人、要介護（支援）認定有効期限内の介護保険被保険者証を持つ人、難民認定証明書を持つ人、生活保護受給票を持つ人、教員、福祉施設勤務者、美術・医療・福祉・教育を専門に学ぶ学生

11月までの関連イベント

① トーク「表現の生態系とは何か？」

本展の企画委員による意見交換や地域のリサーチ、新作制作の舞台裏などを話します。

日時=10月12日(土)14時~16時

対象=一般、先着40人

出演=秋田公立美術大准教授・石倉敏明さん、アーティスト・白川昌生さん、京都精華大准教授・山田創平さん、アーツ前橋館長・住友文彦、アーツ前橋学芸員・今井朋

② トーク「前橋聖務日課」

1979年にエマウス運動として始まった「あかつきの村」と協働制作した作品「前橋聖務日課」や今回のツアー型の新作を通して共同体のあり方を考えます。

日時=10月22日(火)14時~15時30分

対象=一般、先着40人

出演=石倉敏明さん、臨床心理士・猪股剛さん、PortB・高山明さん、PortB・田中沙季さん、プロジェクトコーディネーター・福西敏宏さん

③ 上映+トーク「神々との饗宴」

「精霊の馬/When Spirits Ride Their Horses」(日本語字幕版28分)の上映と企画展内で上映する作品から、儀式や霊媒について語ります。

日時=11月2日(土)14時~16時30分

会場=前橋シネマハウス

対象=一般、先着50人

出演=国立民族学博物館准教授・川瀬慈さん、白川昌生さん、住友文彦

④ 学芸員によるギャラリートツアー

日時=11月16日(土)14時~15時

費用=観覧券

⑤ トーク「アートとフクシ」

本展参加作家の滝沢達史さんとプブ・ドラ・マドレーヌさんを講師に、アートと福祉の関係を考えます。

日時=11月24日(日)14時~15時30分

対象=一般、先着40人

出演=アーティスト・滝沢達史さん、アーティスト・プブ・ドラ・マドレーヌさん、今井朋

☎12365は同館 ☎027-230-1144へ
④は当日会場へ直接

アーツ前橋の試みから 芸術の新たな役割を考える



☎アーツ前橋 ☎027-230-1144



アーツ前橋
ホームページ



表現の森
特設サイト

アーツ前橋で企画展「表現の生態系 世界との関係をつくりかえる」を開催します。

2016年からアーツ前橋が実施している「表現の森」プロジェクトでは、福祉や医療、教育の異なる分野とアートが出合い、社会における生きづらさに対して表現の持つ可能性を考える試みを行っています。

本展では、地域の美術館として「表現の森」プロジェクトの活動を振り返るとともに、歴史や地域を横断しながら、現代社会における芸術の役割とは何か考えます。

また、LGBTQやマイノリティーの権利を考えるための実践的なプロジェクトや、赤城山、伊香保など群馬県内でのリサーチを重ねた作家による新作、神話や老いをテーマとした国内外の作家の作品など31組のアーティストを紹介いたします。詳しくは同館ホームページをご覧ください。